

水田フル活用に向けた支援

活動対象：木古内町・知内町

渡島管内における水田フル活用をめざし、ほ場排水改善の実証に取り組んだ。その結果、排水改善の重要性を広めることができ、技術の普及につながった。

1 課題の背景

- 渡島は「水稲」と「野菜」の主要生産地帯である。
- 近年多発する突発的な豪雨により、作物の生産性が不安定となっている。
- 持続可能な渡島型農業の確立には、降雨リスクを低減する技術の定着が必要である。

2 活動の経過

スガノ農機(株)より支援を受け、関係機関と共に次の活動を行った。

○ほ場排水改善の実証ほを設置した



写真1 大豆ほ場の額縁明きょ施工(知内町)

○排水改善効果を各調査にて確認した



写真2 タイムラプスカメラの設置

3 活動の成果

排水改善技術を管内に広く周知することができた。

○ハウス間の明きょ施工に応用し、知内町ニラ生産組合の現地研修会にて紹介。広く周知することができた。



写真3 知内町ニラ生産組合現地研修会



降雨時に排水されているのを確認することができた。

写真4 明きょに水が流れている様子

排水改善技術はセミナーで紹介し広く道南の農業者へ周知することができた。



写真5 渡島輪作PJセミナー

4 今後の活動

排水改善技術の定着に向け、引き続き実証と普及を行う。